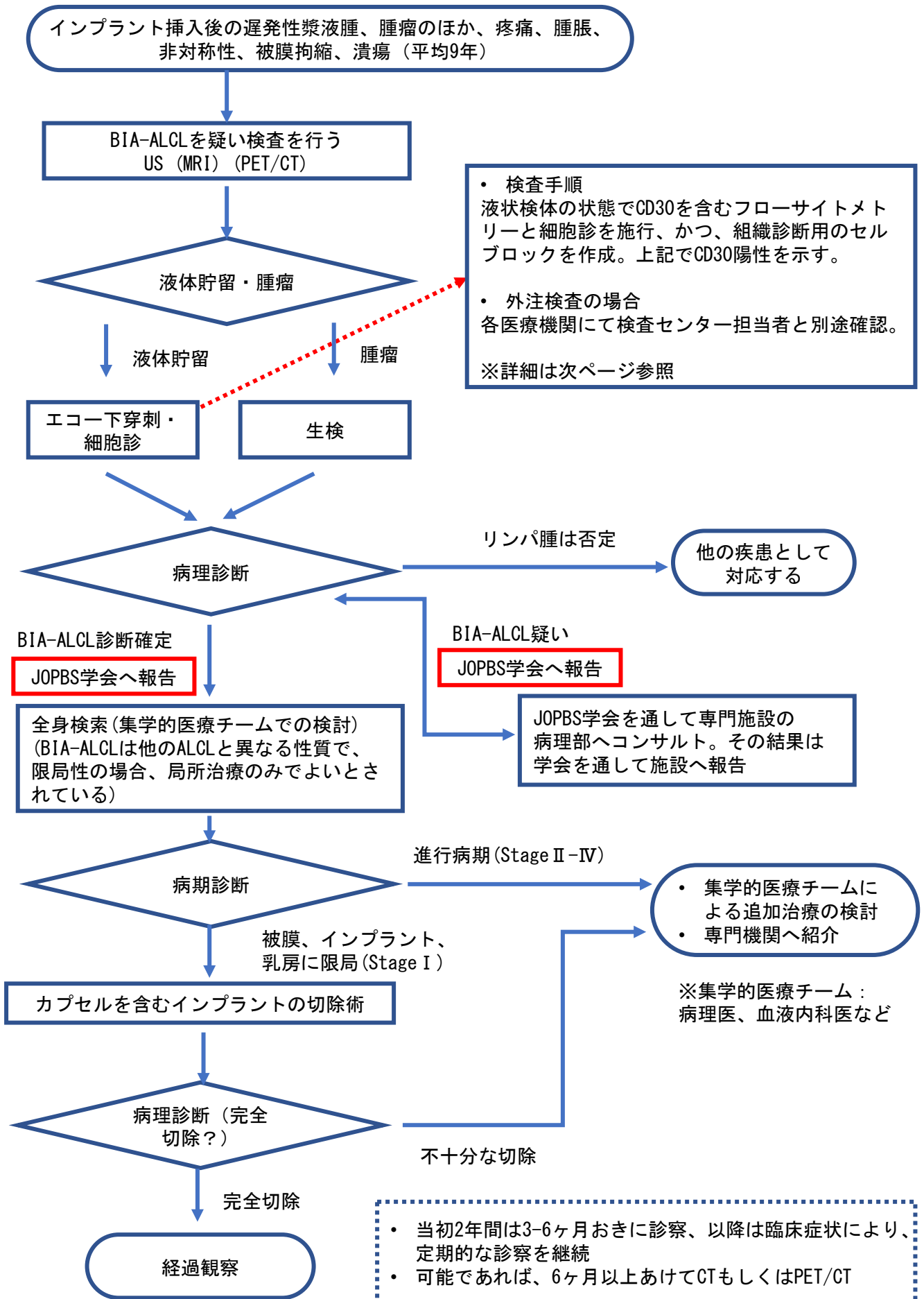
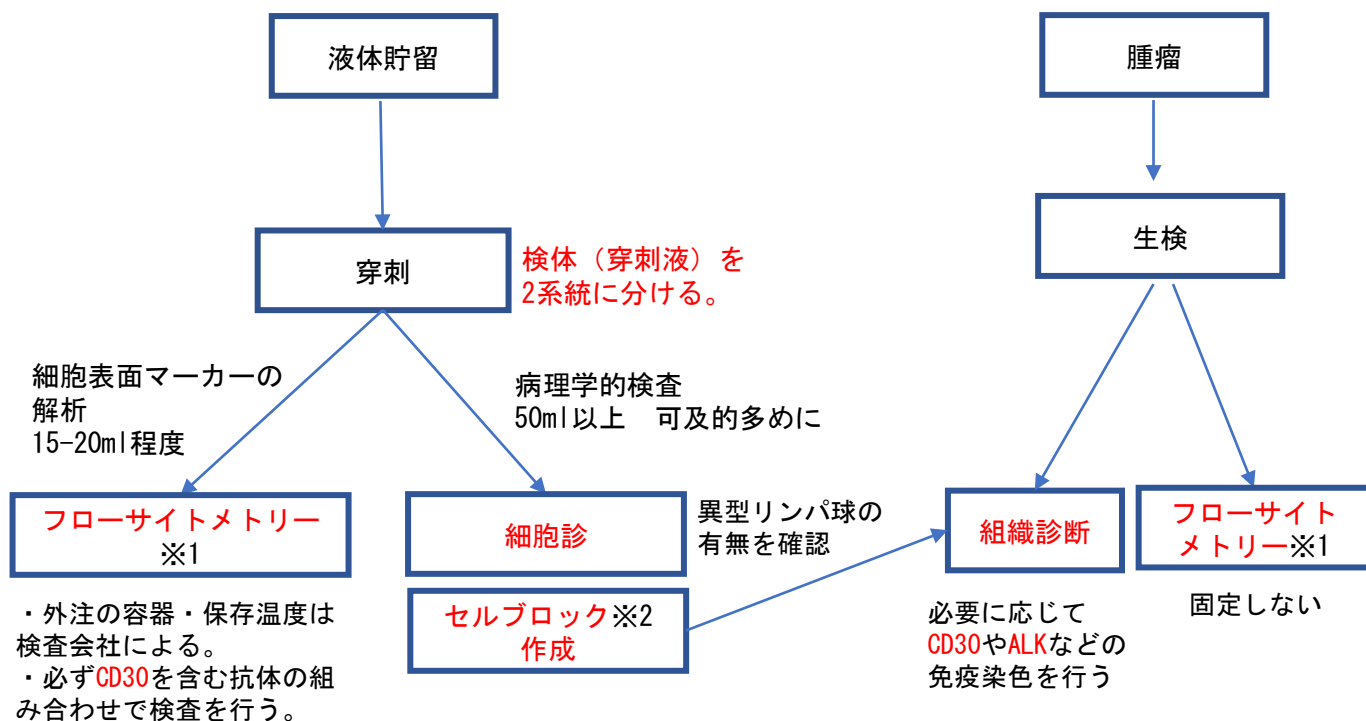


【BIA-ALCL疑い症例に対する検査・治療フローチャート】



〈BIA-ALCL検査手順詳細〉



解析法	解析可能時期	診断確定のための必要性
1 細胞診	検体採取時にしかオーダーできない	やった方がよい (1か2のどちらかは最低限必須)
2 セルブロックの作成及び組織診	検体採取時にしかオーダーできない	やった方がよい (1か2のどちらかは最低限必須)
3 CD30を含むフローサイトメトリー	検体採取時にしかオーダーできない	やった方がよい (出来ない場合は4である程度代用可能)
4 CD30 (及びその他) 免疫染色	保存(セル)ブロックに対して施行	1, 2, 3で異常所見があった場合に行う。
5 ALK免疫染色	保存(セル)ブロックに対して施行	CD30陽性リンパ腫であると確定した時点で行う。
6 細胞診スミアに対するALK FISH	検体採取時にしかオーダーできない	不要
7 ALK FISH	保存(セル)ブロックに対して施行	不要 (ALK免疫染色陽性例や、研究・報告用途など特殊な場合)